



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年2月13日

上場会社名 株式会社BTM

上場取引所 東

コード番号 5247 URL <https://www.b-tm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 田口 雅教

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 懸川 高幸

TEL 03 (5784) 0456

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：有（決算説明動画配信予定）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第3四半期の業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,780	26.5	106	6.7	102	3.7	68	0.1
2024年3月期第3四半期	2,988	15.0	99	4.1	98	22.1	68	35.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	48.55	47.07
2024年3月期第3四半期	48.81	46.46

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,568	665	42.4
2024年3月期	1,380	604	43.8

（参考）自己資本 2025年3月期第3四半期 665百万円 2024年3月期 604百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,046	21.5	75	△50.9	70	△53.4	48	△55.9	34.51

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	1,413,500株	2024年3月期	1,413,500株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	5,079株	2024年3月期	79株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	1,411,043株	2024年3月期3Q	1,402,666株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	5
(セグメント情報等の注記) .....	5
(重要な後発事象) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要を中心に国内の経済活動に回復の動きが見られます。一方でロシア・ウクライナ情勢等の長期化及び記録的な円安の影響による物価の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社のDX推進事業を取り巻く環境は、日本の労働人口の減少が企業の生産活動に大きく影響するという危機感から生産性向上を目的としたDXに取り組む企業が増加するなど多くの企業でその必要性が高まっていることで、DX関連の国内市場は2023年度4兆197億円から2030年度8兆350億円まで拡大するという予測（出所：『2024 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望 市場編/企業編』まとまる（2024/4/10発表 第24034号））があり、時代の変化に対応したビジネスモデルの変革などでDX・ITニーズはさらに高まるものと判断しております。

このような環境の下で、当社ではミッションである「日本の全世代を活性化する」を推進すべく、前事業年度より継続して全国のITエンジニア等の人材を積極的に採用及び教育を行うとともに外部協力企業やフリーランスエンジニアの開拓を行い、開発体制の強化及びネットワーク強化に努めました。また、地方企業・自治体のDXを加速させるため並びにAI市場へ新規参入するため、当社は2024年11月20日開催の取締役会にてAI技術領域に特化した子会社の設立を決議し、2024年11月28日にAI技術を強みとする株式会社ヘッドウォーターズと資本業務提携契約を締結いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高3,780,765千円（前年同期比26.5%増）となりました。売上総利益は、外部協力企業等が増加したことに伴い外注費は増加したものの、自社エンジニアを含めた総稼働案件数が増加したことで576,983千円（前年同期比17.1%増）となりました。営業利益は今後の成長に資する投資費用（従業員数増に伴う人件費、営業体制を強化するために活用した外部コンサル費用等）が増加しているものの、売上高が伸長したことにより、106,393千円（前年同期比6.7%増）となりました。経常利益は支払利息等の計上により102,501千円（前年同期比3.7%増）となりました。四半期純利益は法人税、住民税及び事業税の計上及び法人税等調整額を計上したため68,506千円（前年同期比0.1%増）となりました。

なお、当社はDX推進事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は1,568,077千円となり、前事業年度末に比べ187,360千円増加いたしました。これは主に、短期借入等による現金及び預金の増加155,069千円及び売上高の増加による売掛金及び契約資産の増加36,002千円によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は902,509千円となり、前事業年度末に比べ125,860千円増加いたしました。これは主に、運転資金確保を目的とした借入に伴い短期借入金の増加60,000千円、長期借入金（1年内返済予定を含む）の増加49,035千円によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は665,567千円となり、前事業年度末に比べ61,500千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益を計上したことによる利益剰余金の増加68,506千円があった一方で、自己株式の取得7,006千円があったことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2024年5月14日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更しております。なお、詳細につきましては、本日（2025年2月13日）公表の「業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	663,529	818,598
売掛金及び契約資産	625,012	661,015
その他	48,115	19,878
貸倒引当金	△2,700	△2,800
流動資産合計	1,333,957	1,496,691
固定資産		
有形固定資産	2,136	1,705
投資その他の資産		
その他	44,623	69,680
投資その他の資産合計	44,623	69,680
固定資産合計	46,759	71,385
資産合計	1,380,716	1,568,077
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	300,575	336,137
短期借入金	90,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	40,365	37,140
未払法人税等	24,699	10,719
品質保証引当金	1,400	1,700
その他	168,159	163,102
流動負債合計	625,199	698,799
固定負債		
長期借入金	151,450	203,710
固定負債合計	151,450	203,710
負債合計	776,649	902,509
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	182,037	182,037
資本剰余金	172,037	172,037
利益剰余金	250,351	318,857
自己株式	△358	△7,365
株主資本合計	604,067	665,567
純資産合計	604,067	665,567
負債純資産合計	1,380,716	1,568,077

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	2,988,146	3,780,765
売上原価	2,495,577	3,203,782
売上総利益	492,569	576,983
販売費及び一般管理費	392,864	470,589
営業利益	99,705	106,393
営業外収益		
受取利息	3	73
助成金収入	2,490	—
消費税差額	—	620
その他	26	99
営業外収益合計	2,519	793
営業外費用		
支払利息	2,442	3,232
支払手数料	687	1,452
その他	296	—
営業外費用合計	3,425	4,685
経常利益	98,799	102,501
税引前四半期純利益	98,799	102,501
法人税、住民税及び事業税	21,313	26,515
法人税等調整額	9,021	7,479
法人税等合計	30,335	33,995
四半期純利益	68,464	68,506

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	835千円	519千円

(セグメント情報等の注記)

当社は、DX推進事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(特定子会社の設立)

当社は、2024年11月20日開催の取締役会において、子会社を設立することを決議し、下記のとおり、2025年1月17日付で設立いたしました。

なお、当該子会社は、資本金が当社の資本金の10%以上に相当するため、当社の特定子会社に該当いたします。

1. 子会社設立の目的

当社は、「日本の全世代を活性化する」をミッションに掲げ、ITを活用して地方を活性化したいという思いから、全国各地に拠点を展開してDX推進事業を行っています。

当社のDX推進事業を取り巻く環境は、日本の労働人口の減少が企業の生産活動に大きく影響するという危機感から生産性向上を目的としたDX・ITニーズはさらに高まるものと判断しております。

特に近年、AI技術が急速に発展し、AI技術はDXを推進していくために欠かせない要素となっており、国内のAI関連市場においても2028年には2兆5,000億円超（注）まで拡大すると予測されております。

当社は上記の潮流を鑑み、地方企業・自治体のDXを加速させるため並びにAI市場へ新規参入するため、AI技術領域に特化した子会社を設立することにいたしました。

当社が今まで培ってきた日本全国に広がる人材ネットワーク並びに地方人財の採用及び育成力を活用し、優秀なAIエンジニアによる専門集団を組成することで独自のAI領域のシステム開発並びにソリューションサービスの提供を行い、AI領域でのイノベーターを目指してまいります。

(注) 令和6年版情報通信白書（総務省）

2. 子会社の概要

(1) 名称	株式会社BTMAIZ
(2) 所在地	東京都渋谷区神泉町9番1号 Daiwa渋谷神泉ビル2階
(3) 代表者	代表取締役 田口 雅教
(4) 事業内容	AIを活用したDX推進事業 等
(5) 資本金	30百万円
(6) 設立年月日	2025年1月17日
(7) 大株主及び持株比率	株式会社BTM 100%